

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年12月27日

事業所名 児童発達支援 めくもりすぺいす虹っ子

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12			
	②	職員の配置数は適切であるか	12			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているまた、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12		立地条件上、エントランス部分、2階への移動などバリアフリー化は難しい。活動空間は適切な環境と考える 課題・遊び・おやつ場所を明確にし、子どもたちにわかりやすくしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているまた、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12		幼児用の机・椅子の整備をした	現状に満足せず、より快適な空間づくりを目指す
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、事業改善につなげている	12		年に1回事業所内評価を実施している	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1		これまでもWeb上で公開してきたが、会報誌または虹っ子通信への掲載についても検討している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	6	理事会にて協議を行っている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		今年度、入職した新任職員への研修を実施	次年度は全体での研修の機会をより多く設けていく
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12		標準化はされていないが、個々の特性把握のために、特性シートを作成し活用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な支援内容が設定されているか	11	1		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	12			

提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12		子どもの特性に合わせて行っている		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12		担当職員でその日の流れや配慮事項を確認している		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	2	担当職員で情報の共有をし、振り返りを行っている		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12				
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	12				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在、医療的ケアを必要としている利用者がいない	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えている				現在、医療的ケアを必要としている利用者がいない	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	2		必要に応じて行っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(商学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	4		必要に応じて行っている	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1		研修会に参加している	他の事業所の様子は具体的にはわからない
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8			保護者の中には希望しない方もいる 障害の特性上、公にすることが難しい面もあるが、今後も検討していく
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	5		利用者ごとのサービス担当者会議には積極的に参加している	仙台市には自立支援協議会の中に子ども部会が存在していないという現状がある
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12				
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	2			
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12				

保護者との連携	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12		保護者会は年に2回開催している 父母の会の花植え活動への協力、イベントへの参加など積極的に行っている	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速に対応しているか	12			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	9	町内会の行事には参加している	事業所の行事が少ないため、招待には至っていないが、プライバシーの観点も考慮し、今後も検討していく
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12		各種マニュアルは準備しており、訓練も行っている	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11	1		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	1	医師の指示書が必要な子どもは現在はいない	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1	10月に全員で虐待防止の研修を実施した	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12			